



## 認知症地域支援推進員活動 視察



10月4日、新潟県長岡市の職員3名が、認知症地域支援推進員の活動の視察にられました。加古川市では6つの地域包括支援センターに1名ずつ認知症地域支援推進員を配置しており、行政や様々な関係機関と連携して認知症施策を推進し、**認知症の方も住み慣れた地域で安心して暮らせる**よう支援しています。こちらのセンターで行っている介護ほっとカフェや認知症予防教室（オレンジサロン）などの取り組みを紹介すると、とても多くの質問や、労いの言葉をいただきました。

今回、認知症地域支援推進員としての役割を改めて再確認することができ、今後の取り組みや周知方法についても考える良い機会になりました。より多くの方々に知っていただけるように活動していこうと思ひました。

## サロン代表者研修会

11月15日に、市と社会福祉協議会とともに6包括支援センター合同で「**サロン発！！笑顔づくり・地域づくり～さまざまな地域の支え合い～**」と題して、サロン代表者研修会を開催いたしました。



土屋幸己先生を講師にお招きし、日本の現状から地域支援事業についての説明の後、様々な地域の紹介をしていただきました。講師から「**自分が支える地域は、自分を支えてくれる地域である**」との言葉にみなさま感銘を受け、「**目的型のサロンではなく、居場所をつくること何よりも大切であることがわかった**」「**今後のサロン運営について参考になった**」などの感想をいただきました。今後も地域づくりの一助となれるようご支援していきたいと思ひます。

## ボランティアメッセ

11月5日に、福祉会館にてボランティアメッセが開催されました。ボランティア活動を通して地域とつながることを目的に行われ、地域包括支援センターかがわも参加させていただきました。健康相談や血圧測定・体脂肪率測定・握力測定・脳の健康チェックを行いました。天候にも恵まれ、参加者は114名と健康について関心の高さが伺えました。測定結果に「**明日からも健康増進のためにがんばる！**」と力強い言葉も聞かれました。多くの地域の方と健康相談を通して、つながりを感じる事ができた1日でした。



## 加古川公民館 高齢者大学 講演会



12月14日、加古川公民館高齢者大学の学生100名に向けて、「**もしもの時に知っておくべきこと**」というタイトルで、地域包括支援センターについての講演会を行いました。65歳以上の方の総合相談窓口であることを啓発させていただき「**困った時はまず相談！頼りになります地域包括支援センターかがわ**」というキャッチフレーズのPRをいたしました。アンケートで「**何かあった時には包括を活用しようと思った**」という嬉しいご意見をたくさん頂戴したので、お応えできるように努めていきたいと思ひます。

# RUN伴 2017

10月21日にRUN伴(ラントモ)2017 in 加古川が開催されました。RUN伴は、認知症の人と一緒に北海道から沖縄までタスキをつなぐ体験を通して、誰もが暮らしやすい地域づくりを推進することを目的に行われ、今年で7年目となります。加古川の行程は、ペーパームーンを出発してせいりょう園、地域包括支援センターかこがわを經由し、加古川駅で岡田市長に温かい激励をいただいた後、最終地点であるニッケアグループを目指しました。あいにく当日は台風前の大雨でしたが、ランナーは「加古川をオレンジ色に染める！」をテーマにオレンジ色の揃いのTシャツを着て走り抜けることで、たくさんの参加者と共に、喜びや達成感を共有することができました。今後も、地域同士の顔の見えるつながりから支え合い、認知症の方や家族及び地域全体が暮らしやすい地域づくりの一助となるよう支援していきたいです。



## 加古川市 認知症イベント 2017

12月2日、加古川市が主催の認知症イベントに参加しました。若年性認知症の妻を介護する「八重子のハミング」という映画上映会があり、鑑賞された方から「自分や、自分の周りの方が認知症になった時のことを考える機会になった」「若年性認知症のことを知ることができた」という感想をいただきました。



また、映画上映会に併せて、加古川市の6つの地域包括支援センターの職員も参加して毎年恒例の認知症・介護なんでも相談会と、脳の健康チェックを開催し、たくさんの方とかかわらせていただきました。加古川市のキャッチフレーズである「認知症の人や家族にやさしいまち かこがわ」を目指し、地域包括支援センターかこがわも、認知症の方もそうでない方も誰もが住みやすいまちづくりに努めてまいります。

## 介護ほっとカフェ リフレッシュバス旅行



10月24日に毎年恒例の介護者ほっとカフェのリフレッシュバス旅行を実施し、姫路市にあるNPO法人はなのいえに行ってきました。はなのいえは富山型デイサービスで、こども・障がい者・高齢者の方みなさんが1つの場で一緒に利用する地域共生の場として運営されています。そのはなのいえが経営している「地域とつくるレストラン はなの家」で、富山型デイサービスやはなのいえの理念について説明をいただいた後、参加者全員で美味しい昼食をいただきました。その後は、道の駅みつに移動してフリータイム♪天候にも恵まれ、みなさんお買い物や景色を楽しむなど、リフレッシュできていたように感じました。

## 認知症サポーター養成講座

10月26日に、鳩里小学校で認知症サポーター養成講座を開催し、5年生全員と先生方、あわせて205名が新たに認知症サポーターの仲間入りをしました。平成25年から毎年続けて受講していただいて、今回で5回目になります。前半は全員に講義形式で認知症のことを知っていただき、後半は各クラスにわかれて「認知症の方にわたしたちができること」について考えていただきました。



講座の後「認知症は脳の病気なので、同じことを聞かれても怒らないで応えたい」「テレビを見て知ったことより、知らないことがいっぱいあった」「一生懸命に生きていると思うので、優しくしたいと思った」「認知症の人に限らず、優しく助けてあげたい」など、子どもたちの純真な感想をたくさんいただきました。講師役の15名のキャラバンメイトにとっても、若年者へ講座を開催することの大きな効果を改めて認識することができました。